

北海道社会貢献賞 (消費生活関係功労者)

受賞者の功績概要

小野 幸子 (おの さちこ)
倶知安消費者協会会長 北海道消費者協会理事・73歳
倶知安消費者協会加入後、倶知安消費生活相談員として10年以上にわたり消費者に対する相談、啓発活動を行っている。また、協会の運営に関して、副会長・事務局長の兼務を経て、会長に就任し、現在に至るまで消費者保護の原点を忘れることなく、消費者利益の擁護、増進をしてきた功績は多大である。

山本 孝子 (やまもと たかこ)
室蘭消費者協会会長・82歳
室蘭消費者協会の指導者として、長年にわたり消費者教育、人材育成に努め、特に年に1度開催していた、くらしの講座を、会長就任後10回に増やすなど消費者啓発をととした消費者保護における功績は多大である。

上野 栄子 (うえの えいこ)
新ひだか消費者協会会長・78歳
新ひだか消費者協会の理事として、長年にわたり積極的に消費者保護の活動を続け、会長職に就任してからは、消費者教育、人材育成に努め、近隣町の消費者協会との連携と交流を深めて消費者被害防止を推進してきた功績は多大である。

岩館 幸子 (いわだて さちこ)
一般社団法人旭川消費者協会副会長・68歳
旭川消費者協会に入会後、理事、副会長として長年にわたり優れた行動力で地域会員をまとめ、組織の発展に大きく貢献している。平成13年から積極的に地産地消運動を推進、更に平成14年からノーレジ袋・マイバッグ持参運動にも地道に取り組みレジ袋削減の成果をあげる等、大きな役割を果たしている。また、消費者被害防止のため劇団「風」の劇団員リーダーとして活躍、消費者出前講座では地元旭川市を始め道内各地へ出向き啓発活動を行う等、長きにわたり消費者運動をしてきた功績は多大である。

長尾 一恵 (ながお かずえ)
白糠消費者協会会長・70歳
長年白糠消費者協会の役員として積極的に協会の運営に携わり、消費者教育に努めるとともに、近隣の高齢者の状況に目を配り、特殊詐欺や消費者被害の減少のために尽力された。また、本年より白糠消費者協会の会長職に就き、これまで以上に消費者に対して様々な啓発、教育に努めるなど、消費者保護における功績は多大である。

※北海道社会貢献賞「消費生活関係功労者」

多年、消費者利益の擁護及び増進を図るため、消費者支援活動等に貢献し、極めて顕著な功績のあったものに、その功績をたたえ顕彰し、北海道知事が贈呈する。